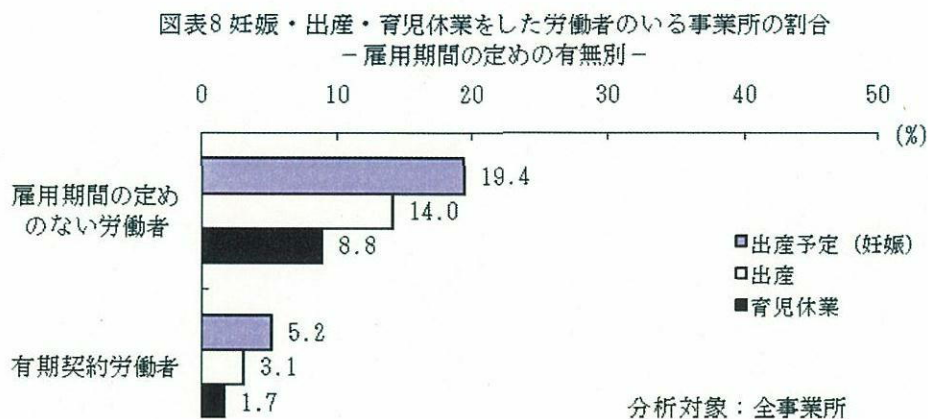


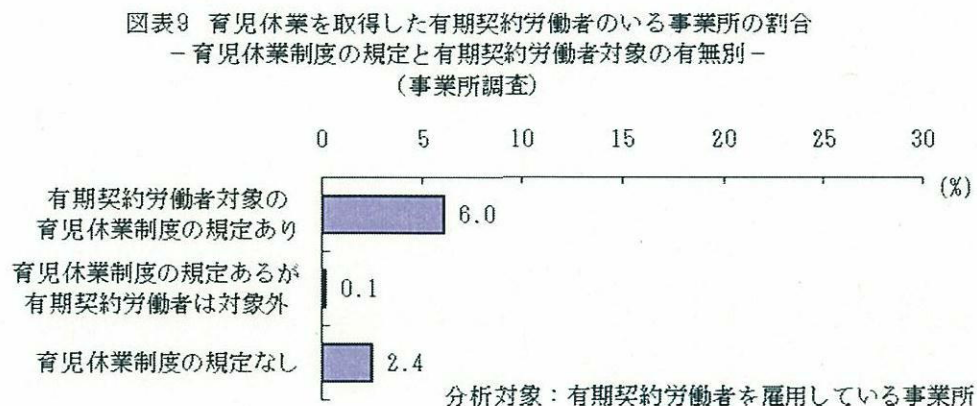
4 有期契約労働者の育児休業取得状況

出産・育児期の有期契約労働者がいる割合は、雇用期間の定めのない労働者に比べて低い（図表8）。



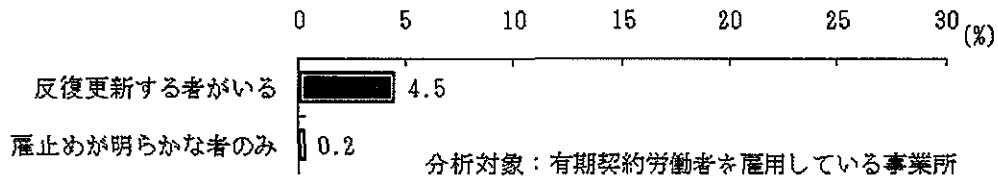
- ※ 事業所調査の「出産予定」「出産」は平成18年度1年間（平成18年4月1日から平成19年3月31日）に該当する者の有無。育児休業は平成18年度1年間に出産した女性のうち平成19年7月1日までに育児休業を取得した者の有無。
- ※ 有期契約労働者を雇用している事業所に限定すると有期契約労働者に育児休業取得者がいる事業所は3.1%。

有期契約労働者を対象とする育児休業の規定がある事業所は休業取得者のいる割合が相対的に高い。「対象外」で休業取得者がいる事業所はほとんどない（図表9）。

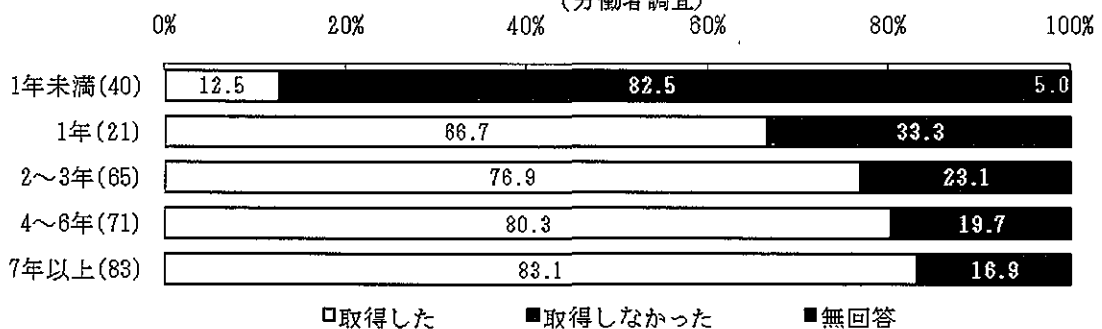


継続的に雇用されている有期契約労働者において育児休業取得割合は高い（図表10、図表11、図表12）。

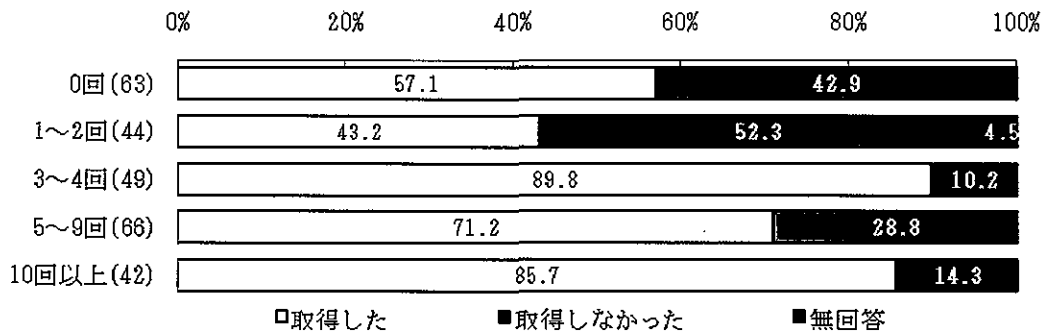
図表10 育児休業を取得した有期契約労働者のいる事業所の割合
- 契約更新状況別 -
(事業所調査)



図表11 (出産者) 勤続年数別 育児休業取得の有無
(労働者調査)



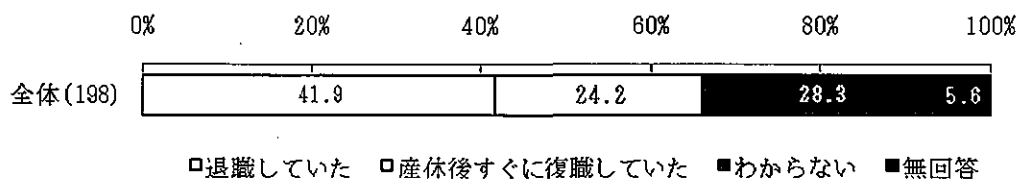
図表12 (出産者) 契約更新回数別 育児休業取得の有無
(労働者調査)



※ 労働者調査の育児休業取得の有無の対象は、平成17年4月1日から調査時点までに現在の勤務先で出産経験のある有期契約労働者

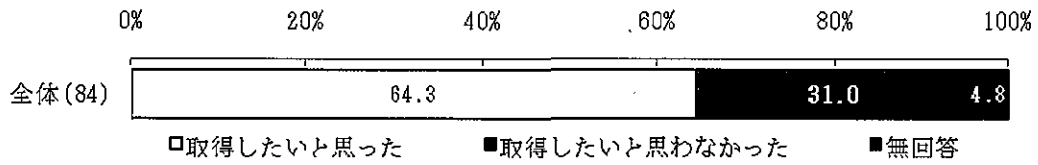
育児休業取得者の約4割は取得していなければ「退職していた」（図表13）。

図表13 (取得者) 育児休業取得しなかった場合の対処
(労働者調査)



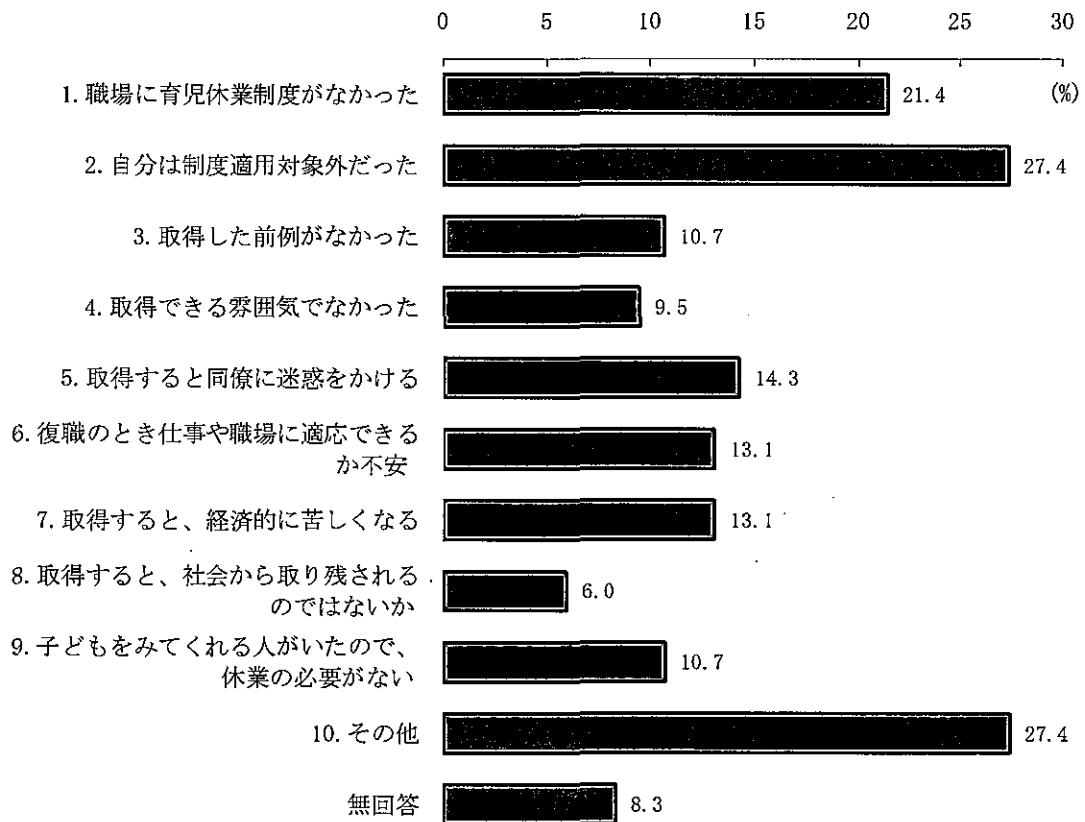
育児休業を取得しなかった労働者の約6割に取得希望があった (図表 14)

図表14 (非取得者) 当時の育児休業取得希望
(労働者調査)



取得しなかった理由は「制度適用外だった」「制度がなかった」「取得すると同僚に迷惑をかける」の割合が高い (図表 15)。

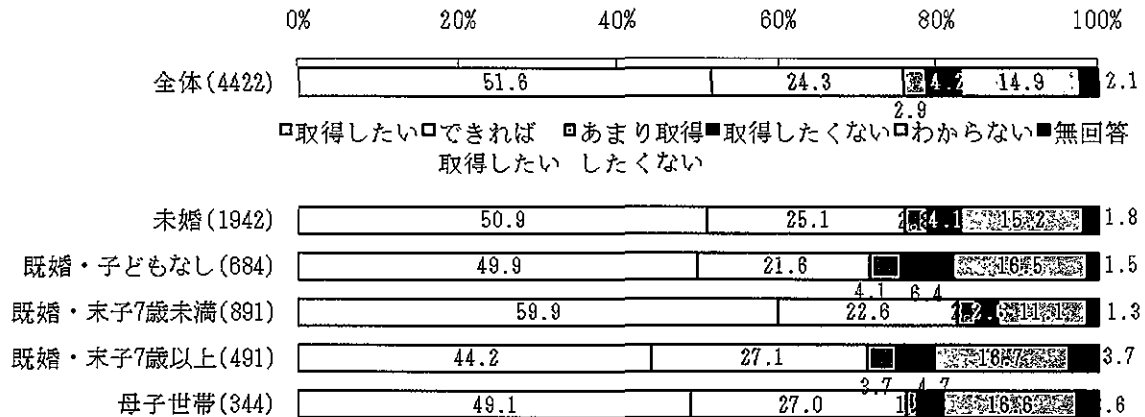
図表15 (非取得者) 取得しなかった理由 (複数回答n=84)
(労働者調査)



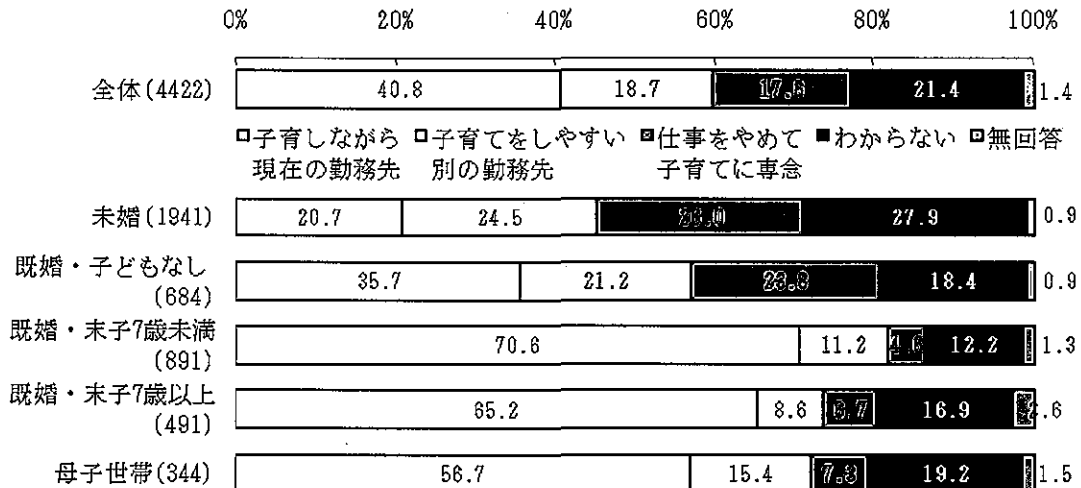
5 有期契約労働者の育児休業取得希望と育児期の就業希望

今後出産した場合の育児休業取得希望は、未既婚・子の有無を問わず高い（図表 16）。しかし、子どものいない層では現在の勤務先を退職する希望も高い（図表 17）。

図表16 ライフステージ別 育児休業取得希望
(労働者調査)

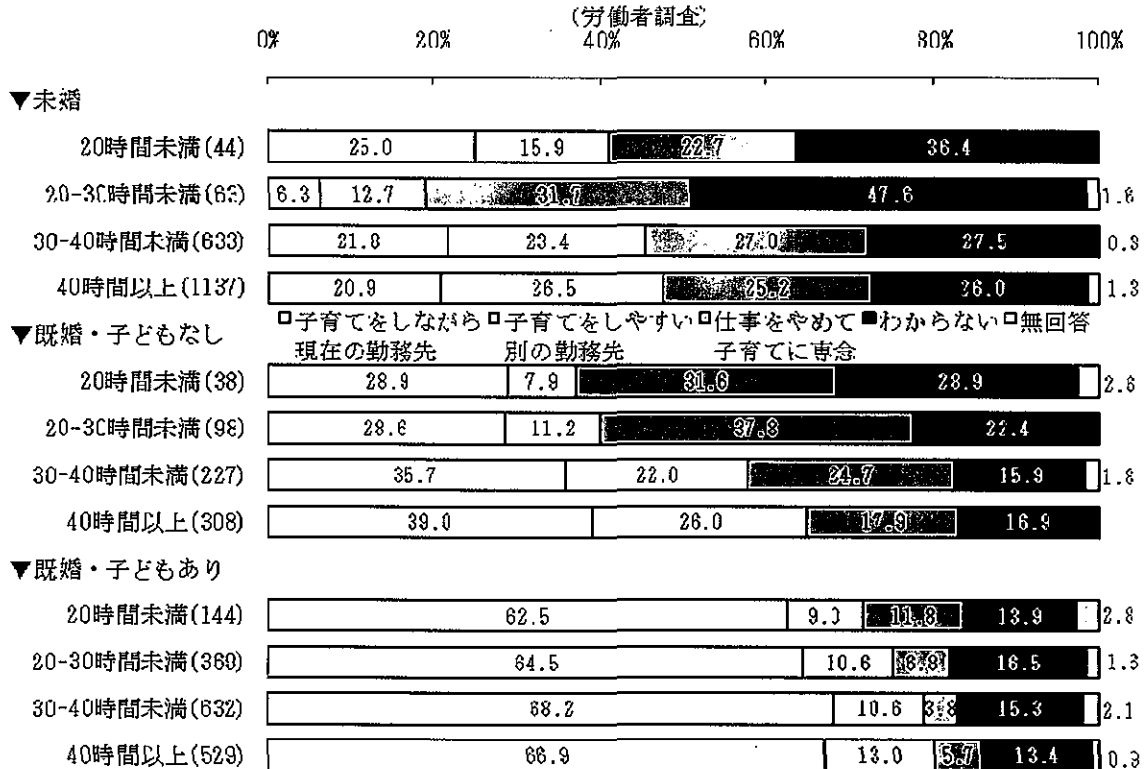


図表17 ライフステージ別 育児期の就業希望
(労働者調査)



労働時間や職務内容が正社員に近い層は育児期の就業希望として「現在の勤務先」が高い（図表 18、図表 19）。しかし、労働時間が週 30 時間以上の層は「別の勤務先」も高い（図表 18）。

図表18 ライフステージ・週実労働時間別 育児期の就業希望



図表19 ライフステージ・正社員との職務の類似性別 育児期の就業希望

